

ネットでも地方競馬! 馬券を買うなら

オッズパーク!

会員数 **200万人** 突破!

※2024年(令和6年) 8月21日時点

2・24^{振月} かきつばた記念 JpnⅢ

4歳以上／名古屋1500m 2024優勝馬 サンライズホーク

かきつばた記念(JpnⅢ)キャンペーン

2月24日(振・月)に開催される名古屋競馬の勝馬投票券(重勝式を除く)をオッズパークで合計5,000円以上購入いただいた方の中から抽選で

投票に使えるOPコイン 最大10,000円分をプレゼント!

※対象会員や応募要領など諸条件あり。詳しくはキャンペーンサイトにてご確認ください。

新規入会で

3,500円分の投票に使えるOPコインが必ずもらえる!

※市中銀行会員及び入会後、コイン付与期間を経過する前に退会した場合を除く。※詳しくはキャンペーンページをご確認ください。

クレジットカード&電子マネー決済に対応!

VISA JCB Diners Club INTERNATIONAL PayPay Pay

お問い合わせ

FREE オッズパーク新規会員登録受付センター

0120-953-620

オッズパーク 検索

馬券は20歳になってから ほどよく楽しむ大人の遊び

●昨年のかきつばた記念(JpnⅢ)結果

1着	4	4	サンライズホーク	セ5	57	Mデムーロ	1:32.6
2着	6	8	ヘリオス	セ8	56	武 豊	1馬身1/2
3着	2	2	スマイルウィ	牡7	56	矢野貴	1 馬 身
4着	8	11	シャマル	牡6	57	川須栄	3/4馬身
5着	8	12	ベリエール	牡4	57	ムルザバエフ	3/4馬身

ルとの距離感もここで推し量ることができらるだろう。

古馬戦に目を転じると、2月24日(振月)に行われるダートグレード競走「**かきつばた記念(JpnⅢ)**」(1500m)が、この冬最大のハイライトとなる。昨年、全国的なレース体系の整備により、大型連休の時期からこの2月に移設。リニールアル元年となった昨年はサンライズホーク(JRA)が勝ってダートグレード3連勝を決めたが、4着に敗れたシャマル(JR

A)はこのレースをステップとして調子を上げ、春には船橋・かしわ記念(JpnI)でダートマイルの頂点に立った。同時期に行われるJRAのフエブラリス(GI)と並び、このかきつばた記念もダートマイル路線の主要競走のひとつとして明確に位置づけられたと言えるだろう。

また昨年は、南関東からの遠征馬スマイルウィ(船橋)が3着に健闘。東西から交通至便な名古屋競馬場で行われるダートグレード

へ、今年も全国の地方競馬からトップホースが参戦してくることを期待したい。

ナイターで行われるかきつばた記念を含め、3月まではナイター開催と薄暮開催が混在する。いずれにしても、メインレースが行われるのは陽が落ちたあと。名古屋本場でレースを楽しむ方は防寒を万全に、遠方からインターネット投票や場外発売所で参加される方はレース発走時刻に留意しながらレースをお楽しみいただきたい。

名古屋競馬NEWS

名古屋競馬ホームページ

名古屋競馬 検索

文／坂田博昭 ※記事は2025年1月20日現在のものです。

ダートマイル路線の精鋭馬が全国から集結「かきつばた記念」!

新年早々の名古屋競馬は、若手騎手活躍の話題に湧いた。まずは1月3日、昨年4月デビューの望月洵輝騎手が地方競馬通算100勝を達成した。デビューからわずか270日での達成は、飛田愛斗騎手(佐賀)の持つ268日の記録には及ばなかったものの、それに次ぐ速さ。「(見習いの減量がなくなる)これからが先輩たちと対等の勝負。不安もあるが、リーディング1位と重賞勝利を目指して頑張りたい」と、更なる活躍を誓った。

望月洵輝騎手

また1月14日には、塚本征吾騎手が地方競馬通算500勝を達成した。こちらはデビューから1367日と、記録が残る1973年以降最速。騎乗可能な笠松にも熱心に通い、昨年1年間の騎乗数が1581と日本で最もハードワークな騎手となった。その甲斐もあり、昨年は東海リーディング3位、名古屋リーディングで2位と、まさに「飛躍」と言える活躍を遂げた。「後輩が伸びてきている。彼らに負けないように、そして手本になるような活躍をしたい」と謙虚に語るところも、周囲の信頼を集める要因なのだろう。

塚本征吾騎手

他にも、1月4日に行われた名古屋競馬新年最初の重賞「名古屋記念(1500m)」では、細川智史騎手がメルト(牡6・角田輝也厩舎)を勝利に導いた。「難しい馬の

力を、騎手が上手く引き出してくれた(角田輝也調教師)という好プレー。細川騎手の存在感が光った一戦だった。こうした年初からの若手騎手の活躍に中堅ベテラン勢が発憤するなら、今年の名古屋競馬はよりエキサイティングなプレーが展開されていくことだろう。

名古屋競馬では、明け3歳の若い馬にも活きのいい素材が揃っている。1月16日に行われた重賞「新春ベガサスカップ」(1700m)では、カワテンマックス(牡3・角田輝也厩舎)が昨年12月のゴールドウイング賞に続く2つめのタイトルを獲得。頭ひとつリードした感があるが、昨秋のネクストスター名古屋を勝ったエレインアステイ(牝3・今津博之厩舎)、準重賞勝利のあるケイズレーヴ(牡3・榎屋充厩舎)やアップショウゲン(牡3・塚田隆男厩舎)など、この世代は名古屋デビューの馬たちの活躍がめざましく、粒も揃っている。これに、暮れの笠松・ライデンリーダー記念を勝ち、新春ベガサスカップでも僅差2着した門別か

らの転入馬ベージュエント(牡3・塚田隆男厩舎)らを加え、今年の名古屋3歳馬戦線は相当ハイレベル。各馬の今後の動向と活躍から目が離せない。

その3歳戦でまず注目されるのは、2月12日(水)に行われる重賞「**スプリングカップ**」(1700m／西日本地区交流。過去にはセブンカラズやニュートアウンガール、カツゲキキトといった馬たちがこのレースを制し、その後の「ダービー」制覇への道筋をつけた。名古屋ではこの世代初となる他地区との交流重賞でもあり、全国レベ

2025.1.16 新春ベガサスカップ

21 Umaletter | PR

PR | Umaletter 20